

徳本 市長は、検討会で桜台の保護者が、給食への想い、市の税収アップ、安くすむ調理場の増築案などを発表した内容を見ましたか。

市長 細かい内容までは確認していません。(中略)市の市民参加条例には「市民の責務」として「参加した市民は市全体の利益を基本に考えて意見しなければいけない」とあります。**市民は自分のところも大事ですが、市全体を考えて自分の意見を述べていただきたいです。**



同感です。しかし「給食のあり方検討会」では、教育・食育としての給食の話をするのも難しく、経費削減の話に特化しています。それでは長期的に市全体や子ども達に何か必要かを話し合えないのでは。

また、PCR検査体制の充実が望まれるコロナ禍に、市長は多くの市民の反対を無視してコロナ公園看板事業に多額の交付金を投入しました。「市民参加」「市全体を考える」ことを、市長こそ実践していただきたいです。

給食センターの食べ残しは、自校式給食の運営費以上！ 自校式給食なくすより、食べ残しをなくそう



自校式給食をいかせば 市全体のためになる

給食センターも工夫はしていますが、食べ残しは減っていません。15年という長期民間委託では質の改善より企業の利益重視になり、抜本的な自己改善が難しいと思います。

自校式給食と協力して本気で食材や食育を改善すれば、子ども達全体のためになり、給食を白井の売りにもできるのではないのでしょうか。

千葉県では、台風で給食センターが被災し、長期間給食が止まった市もあります。調理場が複数あればリスク分散になり、炊き出しもできます。

ゴミになる分は子ども達の栄養にならないという点も深刻です

食べ残しと加工食品率(白井市予算書より)

- ・**食べ残し** 給食センター(小中12校) 約18% 桜台小中 約5% (2022年度の主食・主菜・副菜・汁物分)
- ・**主菜の加工食品率** 給食センター 約87% 桜台小中 約5% (2020・2021年度平均)

文化センターのあり方検討委員会 落下の危険ある大ホール天井の対策を早く！

徳本 委員長は、財政難を強調する資料を配り、白井はなぜ印西市と合併しなかったのか、財政難の際は学校の統廃合も必要で、自校式給食問題など吹き飛ぶと意見しました。住民投票の結果や、他の検討会が議論中の問題にまで私見を述べる進行の仕方をどう考えますか？

答 委員長は条例にのっとり委員から選ばれたと認識しています。(↑質問に答えていない答弁の1つ)



徳本の一般質問

- ・新型コロナ対策(7回)
- ・大ホール天井の危険(3回)
- ・給食問題(3回)
- ・北総線運賃値下げ
- ・ゴミ減量 ・国保税減免 ・平和など

文化会館大ホールの吊り天井は、調査の結果、大地震の際に落下する危険があるとわかっており、重たい石こうボードが頭にあたると死亡する可能性もあります。市長は、一般質問や市民からの再三の指摘にも関わらず、安全基準を満たす工事を選ばず、天井落下を防げないワイヤー補強工事にお金をかけました。文化センターの今後を決めるまで何年も待てません。市長は「市民の命を守る」と度々発言しています。自身の言葉を守り、大ホールの安全対策工事を一刻も早く行ってください。

